



# 国際交流のひろば

## 短期留学生修了証書授与式

9月6日(水) 13時15分から学長室にて短期留学生修了証書授与式を執り行いました。

昨年10月から、本学協定校のチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学から留学した1名に修了証書が授与されました。



### 日本語・日本文化研修留学生 エメッキ・メルテム（トルコ）

私は子供の頃から、日本文化に興味を持ち、アニメや漫画、日本の古い神話のストーリーがあるゲームが大好きでした。高校の時から自分で日本語を勉強して、日本語が大好きになりました。そして私は大学で日本語を勉強することにしました。私の最大の夢はいつか日本に行くことでした。大学3年で日本に留学する機会を得て、その時の私の嬉しさは本当にいつまでも忘れられない嬉しさです。

私は上越に来てから、様々な国からの新しい友達ができるようになりました。言葉は違っても、お互いを理解しすぐ仲良くなりました。違う国で生まれ、違う文化の中で育っても、機会があれば本当に親しい友達になれる。これを体験できたので本当に嬉しいです。授業も先生方のおかげでとても勉強になりました。歴史、文学、体育、美術など、さまざまな分野の授業を受ける機会がありました。私はトルコに帰りますが、ここにいる友達や先生がいなくてとても寂しいです。また機会がありましたらお会いしましょう！

## 修了生からの手紙



令和5年3月に修了し、インドでご活躍されているディビヤさんからお手紙が届きました。

### 令和4年度教員研修留学生 モハンティ・ディビヤ・スワラップ（インド）

こんにちは。お元気ですか。私は2021年11月から2023年3月まで、新潟と上越に留学しました。帰国前の最後のひとときは、渋谷、新宿、東京スカイツリーの近くで過ごし、夢のような日々の終わりを感じ、感慨深かったです。ニューデリーに降り立ったとたん混沌とした生活が始まり、非常に混雑し蒸し暑かったです。翌日から仕事が始まり、以前と同じように働き始めました。快適な留学生活から、以前の職業生活にシフトする必要があり、時差ぼけに慣れる時間もなく、非常に困難な時期が1カ月以上も続き、職場が遠かったので、家族にも会えない日々でした。

日本の生活について同僚や生徒たちに紹介する機会が何度かありました。彼らは魅了され、日本への訪問や留学に興味を示してくれた学生もいました。私は食いしん坊なので、寿司、ラーメン、ケーキ、アイスクリーム、スーパーの弁当などが今でも恋しいです。でもインドでは新鮮な季節の果物が食べられるようになりました。最近、インドの新しい学校に赴任し、もっと頻繁に家族に会いに行き、一緒に過ごしたいと思っています。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel: 025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)